

# 学校関係者評価報告書

【評価対象期間】 自：2018年4月1日  
至：2019年3月31日  
【評価基準日】 2019年4月1日

学校法人 麻生塾  
麻生公務員専門学校北九州校

## 目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況 .....	- 3 -
1. 学校関係者評価の目的と基本方針 .....	- 3 -
2. 学校関係者評価委員名簿.....	- 3 -
3. 学校関係者評価委員会の実施状況 .....	- 3 -
4. 学校関係者評価委員会の実施方法 .....	- 3 -
5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方 .....	- 4 -
II. 学校関係者評価委員会報告.....	- 4 -
1. 重点項目について .....	- 4 -
2. 基準項目について .....	- 4 -

## I. 学校関係者評価の概要と実施状況

### 1. 学校関係者評価の目的と基本方針

#### 1) 目的

①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生公務員専門学校北九州校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。

②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

#### 2) 基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

### 2. 学校関係者評価委員出席者名簿

区分	氏名	所属(役職)
業界関係者	久塚 純一	北九州市社会福祉ボランティア大学校
業界関係者	徳田 貴史	(株)行政マネジメント研究所
高 校	堀田 義高	福岡県立八幡南高等学校
地域住民	野口 美穂	地域住民代表
保 護 者	堀田 由美	公務員総合科 保護者代表

※区分別、五十音順、敬称略

### 3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時：2019年7月12日(金) 16:00 ～ 16:30

場 所：麻生公務員専門学校北九州校 601教室

### 4. 学校関係者評価委員会の実施方法

学校関係者委員の皆さまに、2018年度の実績に対する自己点検評価の結果を学校から報告し、評価結果に対する意見をいただく。

## 5. 学校関係者評価（自己評価結果）の評価の仕方

2018年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

## II. 学校関係者評価委員会報告

### 1. 重点項目について

#### 【今年度の取り組み状況】

従来、カリキュラム内で不足していたフィールドワークを補うことに重点を置いた。公務員総合科（2年過程）では、職種研究ゼミを実施し、班毎にWebサイトを用いた調査や官庁への訪問等を行い、年度末にその成果を学校長や他学科の教員を交え、発表した。その際、訪問先へのアポイントメント等は学生が主体となって行うよう指導した。ボランティア活動では、北九州市青少年ボランティアステーションと連携し、多くの自治体主催のイベント等に補助スタッフとして参加した。また、福岡県警察小倉北警察署と連携した取り組みである防犯パトロール隊に多くの学生が所属し、暴力団追放運動やニセ電話詐欺撲滅運動等を行った。今年度は新たに小倉祇園太鼓、子ども食堂、農業体験等の地域活動にも積極的に参加した。

また、職場見学を充実させるため、以前より実施していた第7管区海上保安本部見学に加え、北九州市消防局市民防災センター、小倉少年鑑別支所等の新たな見学先を学生に提供した。また、教務会議では公務員試験に関する情報共有を徹底することで、チームとしての受験指導の実現に努めた。

さらに、昨年度同様、8月に国家公務員、県職員、消防士等の卒業生を招き、年に一度の特別なオープンキャンパスである「公務員フェスタ」を実施した。また、在校生の最終合格者による合格者座談会を実施した。

#### 【課題】

(1) 職種研究ゼミを通して、班毎の発表内容に大きな格差があったと考えている。次年度は今年度の内容を踏襲するとともに、担当教員がより多くの助言をする機会を設け、その格差を是正していく。

(2) 面接や集団討論に関する知識・スキルの共有に関しては、いまだ教員個人の能力に依存している部分もあるため、教務会議や勉強会等を増やしていく。

(3) 「公務員フェスタ」の参加人数は過去最高の数字となった。次年度も今年度の内容を踏襲するとともに、新たな試みとして在校生を対象とした実施を検討している。

## 2. 基準項目について

### 基準 1 教育理念、目的、人材育成像

学校関係者評価結果： 適

#### 【課題、改善結果】

「法人の理念」、「学校の教育理念」、各学科の教育目的および育成人材像は明文化され、職員には年度開始前の定例会議にて確認を行い、学生には年度開始時のガイダンスの中で、学生便覧を用いて説明している。また、Webサイト・パンフレット等により校外へ発信している。今後、非常勤講師に対して更なる周知徹底を図る必要がある。

#### 【今後の取り組み】

非常勤講師に「法人の理念」、「学校の教育理念」、各学科の教育目的および育成人材像を共有する機会を設けていく。教職員に対しても、朝礼、定例会議等において周知を徹底する。これまでと同様、Web活用により、学生・保護者・関連業界等への浸透を促進していく。

#### 【評価委員からの意見】

課題とその対策を明確に把握しているので、今後具体的な対策を実施していただきたい。

### 基準 2 学校運営

学校関係者評価結果： 適

#### 【課題、改善結果】

大きな課題はない。現状、適正かつ効率的に運用できている。

#### 【今後の取り組み】

新年度より新たなシステムを導入するにあたり、学生に関する情報管理システム、業務処理システムを活用し、教育活動ならびに事務業務の改善をはかることで、業務の効率化と意欲・資質の向上を図る。

職員の意欲・資質向上を図るため、研修を本部担当部署の指導のもと推進していく。

#### 【評価委員からの意見】

特記事項無し

### 基準 3 教育活動

学校関係者評価結果： 適

#### 【課題、改善結果】

今年度に「ディプロマポリシー」・「カリキュラムポリシー」の見直しを行ったため、職員による内容の検証が課題。また、シラバス・コマシラバス作成が個々の教員に委ねられており、教員の総意で作られているといえない点が課題。

#### 【今後の取り組み】

「ディプロマポリシー」・「カリキュラムポリシー」については、教職員に対して定例会議等で周知を行う。また、学生に対し、入学時ガイダンスおよびホームルーム時間を活用し周知を行う。社会公表については学校ホームページへの掲載を実施する。シラバス・コマシラバスについては、年度末に担当科目毎の会議を実施する。教員全体でシラバス・コマシラバスを作成し、誰が授業担当となっても授業の内容・質に違いがないようにする。また、今年度から教育力推進会議が発足し、法人全体で教育力向上に努めていく。

#### 【評価委員からの意見】

入学から卒業まで一貫したポリシーを設けているので、今後ともその部分を点検し、よりよいものにしてもらいたい。

基準 4 学修成果

学校関係者評価結果： 適

**【課題、改善結果】**

就職率・就職者の割合向上、退学率低減のため、年度開始時に設定した目的・目標を全教員で共有し、教務会議等で随時、進捗状況を確認している。教員全体で目標達成のために協働した結果、公務員合格率等のほとんどの目標をしっかりと達成できている。課題は、卒業生の社会的評価の把握が不十分である点。

**【今後の取り組み】**

公務員という仕事の特性上、卒業生の社会的評価の把握が事実上困難。

**【評価委員からの意見】**

卒業生の社会的評価の把握やキャリア支援に関する項目は、公務員という仕事の特性上、不向き。今後適用除外も考えたほうがよい。

基準 5 学生支援

学校関係者評価結果： 適

**【課題、改善結果】**

学生への就学・進路支援に関しては、面談や保護者を含めた三者面談を定期的に行うのみならず、状況に応じて適時実施し、学生をサポートする体制は十分に機能している。学校生活の中では、学生が担任やスクールカウンセラーによる面談を常時受けられる体制を整えている。奨学金制度も充実しているため、学生を経済面から支援する体制も十分にあるといえる。また、健康診断の実施や学生寮・部活動の紹介等、学生の健康管理、生活環境・課外活動への支援も行っている。しかし、卒業生・社会人への支援は十分に行えていない点が課題。

**【今後の取り組み】**

卒業生・社会人への支援は公務員という仕事の特性上、事実上困難である。

**【評価委員からの意見】**

卒業生の社会的評価の把握やキャリア支援に関する項目は、公務員という仕事の特性上、不向き。今後適用除外も考えたほうがよい。

基準 6 教育環境

学校関係者評価結果： 適

**課題、改善結果】**

教育上の必要性に対応した施設・設備として実習室や演習室を整備しており、定期的に点検・管理を行っている。また、公務員採用試験に専念できる環境を整えるため、教室のほかにもパソコンルーム・トレーニングルーム等の施設設備を設置している。また、前年度末より新たなパソコンルーム・面接指導室・図書コーナーを設置している。さらに、自治体へのインターンシップにあたり、安全対策を含む注意事項を文書化し、実習前に対象学生に配布・告知を行い、学生・生徒災害傷害保険およびインターンシップ活動賠償責任保険に加入させている。課題は、防災マニュアルの非常勤講師への周知と地震対策。

**【今後の取り組み】**

定例会議等で、より徹底した管理・運営方法を検証していき、最良な教育環境を全学的に提供できるような体制を整えていく。

**【評価委員からの意見】**

火災に対する対策は、避難訓練実施など十分のようであるが、今後は地震対策も行っていくべきである。

基準 7 学生募集

学校関係者評価結果： 適

**【課題、改善結果】**

学生募集については、アドミッション・ポリシーや学費、募集定員などを募集要項やWebサイトにて公表し、学校としての学生受け入れの方針を明らかにしている。また、入学者選考は、公表している選抜方法に則り、公平かつ適切に実施している。この基準に沿って複数の教職員で選考を行っている。課題は、アドミッション・ポリシーの共有が十分でないこと。

**【今後の取り組み】**

新しいアドミッション・ポリシーについて各会議にて情報共有を行い、教職員の理解を促進する。特に入試にかかわる職員については、入試前の打ち合わせにてアドミッション・ポリシーを読み合わせ、入試担当者の意識を統一する。

**【評価委員からの意見】**

特記事項無し

基準 8 財務

学校関係者評価結果： 適

**【課題、改善結果】**

定員充足率、入学者比率は、改善傾向で、収入と支出のバランス、また、貸借対照表からみて、財務基盤は安定しているといえる。年度予算を作成し、設備投資予算等を含め本部にて承認している。毎月、勘定項目および予算の執行状況を確認し報告している。会計監査（内部・外部）体制については、学校法人が公共性を担保するために、会計士監査と監事に寄る監査体制を敷いて適切に運営している。毎年度公認会計士による監査を受け、監査報告書による監査結果を得ている。毎年、予算編成・計画立案に関するヒアリング後、予算計画を立てている。予算執行に伴う効果を、管理票を元に分析・検証している。私立学校方及び寄付行為に基づき、会計監査を実施している。監査報告書を作成し、理事会へ提出している。

財産目録、事業報告書については、利害関係者は閲覧することが可能な体制になっている。監査報告書、貸借対照表、資金収支計画書、消費収支計画書はWebサイト上で公開している。固定資産管理運用基準を設け、その基準に従って運用している。課題は特にない。

**【今後の取り組み】**

適切な予算管理と執行手順の順守を継続する。

**【評価委員からの意見】**

特記事項無し

基準 9 法令遵守

学校関係者評価結果： 適

**【課題、改善結果】**

学校教育法及び専修学校設置基準等、関係法令や学内規程を遵守して学校運営を行っている。法令遵守に関する啓発では、職員に対して、定例会議等で周知徹底を図っている。法令に関する研修において、知識の習得に努めている。また、毎年度、諸規定は定期的に整備し、適切に運用している。

法令等遵守に関する啓蒙や研修等が教職員に対して適切に実施され、教職員は法令遵守を理解し、規定に従っている。法令改正等に応じた法令等遵守規程類の見直しが適時適切に行われて、法令等遵守義務や違反に対する処分等が、規程の中で明確にされて、法令遵守違反等に対する調査・報告及び再発防止策等がなされている。特に課題はない。

**【今後の取り組み】**

法令の遵守については、引き続き適正な運営を図るためにも、会議で周知徹底を図り、誤りのないよう努めていきたい。あわせて、各種法令の閲読をとおして、その内容の吟味と確認を促していきたい。

教職員に対しては、「コンプライアンス」感覚を磨くためにも、相互の確認と点検の重要性を認識させ、規定に基づく業務の徹底を図っていく。

**【評価委員からの意見】**

特記事項無し

基準 10 内部質保証

学校関係者評価結果： 適

**【課題、改善結果】**

毎年度、定期的に自己点検・自己点検評価を行い実施結果に基づき業務等の改革・改善を行うことを基本方針とし専門学校の質保証・向上への取り組みを行っている。自己点検・評価については、企業関係者や地域住民、保護者、高校教員、卒業生等で構成される学校関係者評価委員会で報告している。また、改善項目については、委員の意見を取り入れた改善を行っている。

自己点検・評価報告書を作成後、学校関係者評価委員会で報告を行い改善案などの意見を取り入れ、承諾を得た後、学校関係者評価報告書をまとめWebサイト上で公開している。課題は、自己評価の結果と課題を全教職員が正確に把握し、学校全体で課題の改善に取り組む仕組みの構築。

**【今後の取り組み】**

定例会議等で委員以外の職員と情報共有を行い、活動する上でより多くの意見を反映させていく。評価基準や項目を明文化し、全教職員が統一した評価基準で点検を行うことができるようにする。

**【評価委員からの意見】**

特記事項無し



基準 1 1 社会貢献・地域貢献

学校関係者評価結果：  適

**【課題、改善結果】**

本校が公務員として活躍できる人材を輩出することを目的としているため、学生には積極的にボランティア活動に参加することを促している。今後は、行政組織のみならず地域社会との連携を強化することが課題。

**【今後の取り組み】**

小倉祇園太鼓のボランティアを通じて、地元町内会との連携を強化していく。また、これまでの活動を継続的に行うとともに、学生が主体的に参加し、人間的な成長につながるボランティアを探していく。

**【評価委員からの意見】**

特記事項無し。

基準 1 2 国際交流

学校関係者評価結果：  適

**【課題、改善結果】**

公務員専門学校の特性上、留学生の受け入れを行っていないが、海外留学プログラムに関しては学生・保護者ともに説明し、麻生塾本部に設置している担当部署が中心となり、生活指導等の対応・管理体制の整備を行っている。

**【今後の取り組み】**

海外留学プログラムを希望する学生の人数が増加に対しての対応をどうするか。

**【評価委員からの意見】**

特記事項無し

以上